

ドイツのドルトムント工科大学・統計学部からの大学院生ポーリン・バウア（Pauline Baur）さんが、バイオ統計センターに留学に来ました。ドイツの財団（<https://www.studienstiftung.de/>）からの奨学金で来日し、留学期間中は指導教員（江村准教授）の下で修士論文の研究を行い、九州各地を自転車で旅していました。滞在期間は:2023年4月1日～5月31日で、5月28日に研究発表会を行いました。

研究発表後；ポーリン（中央）とバイオ統計センターの院生/教員↓

